

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新橋五丁目計画	階数	地上14F、地下1F
建設地	東京都港区	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	170 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,928 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2023年11月21日
敷地面積	325 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社UG都市建築
建築面積	176 m <sup>2</sup>	確認日	2023年11月21日
延床面積	2,405 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社UG都市建築

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 72%  
③上記+②以外の 72%  
④上記+ 72%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	ヒューマンスケールなコンパクトオフィスの計画で、利用者の快適性にも配慮した計画としている。	
その他	-	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
事務室空間の遮音性能や断熱性能を高めることや、制御性を高めた照明設備などにより、快適性と知的生産性を高めた空間を創出している。	高い天井高やコンセント容量の確保などにより、多様なテナントの要望に対応可能な建物仕様としている。また、長期耐用性が高い内装仕上材の採用により、長期的に使用可能な建物としている。	限られた敷地内で緑化をなるべく増やすように努めている。また、周囲からの景観が良好になるように配慮した設計としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建築外皮の熱負荷抑制や、設備システムの高効率化をすることなど省エネルギーの取り組みを行っている。	OAフロア採用など将来のリサイクル性向上に配慮している。また、ノンフロン系断熱材を採用し、汚染物質含有材料の使用を回避している。	敷地内に適切な数の駐車場、荷捌き用車両スペースを確保し、周辺道路の渋滞緩和に配慮している。また、燃焼機器を採用しないなど、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される